

中四国支部だより

中四国地方のマンドリンの「今」を届ける

二橋作品を弾いてみよう！前日リハーサル



中四国マンドリンフェスティバル2025
無事終演しました！

2025年8月10日(日)
はつかいち文化ホールウッドワンさくらぴあ

本号の記事 フェスティバルの参加者・実行委員の声をお届けします

瀬戸内フェスティバルマンドリンアンサンブル 宮武省吾 P2

演奏発表＆二橋企画参加 門田恵子 P2

実行委員＆二橋企画参加 真栄晃 P3

実行委員代表＆JMU中四国支部長 佐古季暢子 P3

団体演奏発表<第1部6番> 瀬戸内フェスティバル マンドリン アンサンブル 指揮者：宮武 省吾

マンドリンアンサンブル ソナチネ指揮者も兼務

たいへんな行事を企画いただきありがとうございました。

瀬戸内フェスティバルマンドリンオーケストラ(SFMO)としてはちょうど秋田公演を3週間後に控えていた為全員参加とはいきませんでしたが、オリジナルのマンドリンオーケストラのレパートリーを演奏できて良かったです。

この手の行事は続けていき、また発展させていくことが大切だと思っています。

また機会があったら参加してみたいと思います。お世話になりました。



懇親会にて



ガチャ大人気！

演奏発表<第3部2番> マンドリン独奏 門田 恵子

中四国地域に拠点を置くマンドリン団体のアンサンブル演奏、二橋潤一氏の作品演奏、休憩時間を利用した楽器体験の3つの企画で構成されました。今回は地元開催ということもありお手伝い出来ればと思い参加しました。

第1に「団体演奏発表」です。各団体の個性的な選曲により来場者の皆様には多様性を感じていただけだと思います。その一環として、南野雅英さんの無伴奏マンドリーチェロと私（門田恵子）の無伴奏マンドリンの演奏機会を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。大ホールでの演奏は初の経験でしたが豊かな響きに包まれ幸せでした。

第2に、販売を通してたくさんの方とお話できましたこと、マンドリン愛を感じてこちらも励みになりました。

最後に、第3の企画である「二橋作品を弾いてみよう！」についてお話しします。全国から集まった中高生からシニア世代までの約50名の参加者が、私の恩師である松重正清氏を指揮者に、堀雅貴氏をコンサートマスターに迎え、前日1回の練習のみで緻密な二橋潤一作品を仕上げました。前日に初めて顔を合わせたメンバーでの演奏ということもあります。当初は不安もありましたが、松重正清氏、堀雅貴氏の楽しくも熱意溢れる指導のもと、演奏は徐々に一体感を増していました。そして迎えた本番は、もっと演奏したいという思いがさらに強まる素敵な時間となりました。松重先生、堀先生、そして参加者の皆様、心より感謝申し上げます。また、お会いできることを楽しみしております。

終演後の懇親会における皆様の溢れる笑顔が印象に残る1日になりました。

実行委員・二橋企画参加 真栄 晃

一言で言えば大変画期的なことだったと思います。

私はご縁があり佐古支部長にお声かけいただき、運営に関わりました。鳥取で遠方なので、殆ど実質的な準備は広島在住の方々がされ、私は当日のほんの少しの受付などの手伝いだけでした。

まず、参加者や参加団体がフェスティバルと言えるほど集まるのかが課題でしたが、ふたを開けてみれば社会人から中学、高校生まで、各県から参加をいただく状況になり、名実ともに立派なフェスティバルになりました。山陰から団体の参加はなかったですが、個人参加やお客様として駆けつけてくれた方もおり大変うれしかったです。

メインイベントである松重先生指揮による合同合奏も中四国マンドリンにとって、歴史的な1ページになったと思います。松重先生も大変優しく、時には穏やかにスバルタで今回初めて集まつたメンバーを引っ張ってくれました。各トップもそれぞれリードし楽しくもかつ引き締まった、充実のある体験になったと思います。一番言いたいのは、広島女学院の松重先生でもありますが、中四国マンドリン界我々の松重正清先生になっていただきたいということです。一緒にマンドリンを楽しみ広めていく期待が高まり、先生にはぜひそこを期待したいということです。先生是非そのところをよろしくお願ひします。

次回はまだ未定だとは思いますが、また是非お手伝いできることができれば関わらせて頂きたいです。また、先日の日本マンドリンコンクールで最高位2位をエリザベト在学中の亀島さんが受賞されました。これは、風が吹いています。大きな中四国マンドリン旋風が吹き荒れるはずです。



実行委員代表 JMU中四国支部長 佐古 季暢子

この度は「中四国マンドリンフェスティバル2025」にご参加・ご協力・ご声援を賜り、誠にありがとうございました。

当日はあいにくの悪天候にもかかわらず、約600名（参加者含む）の方々にご来場いただきました。フェスティバルでは三つの企画を実施しました。中四国とその周辺地域の個人・団体による「団体演奏発表」、全国からの参加者とプロ・セミプロ奏者が共演した「二橋作品を弾いてみよう！」、そして子どもを中心にマンドリンに触れてもらう「楽器体験と楽器紹介」です。

「団体演奏発表」では全15組が参加し、独奏から大合奏まで、ポップスから現代音楽まで多彩なプログラムが披露されました。中四国のマンドリン界の熱意と広がりを実感できる時間でした。

「二橋作品を弾いてみよう！」では総勢63名が1日半のリハーサルで息の合った演奏を披露。中高生や大学生をはじめ、若い世代の参加が頼もしく、未来への希望を感じました。

「楽器体験」では、多様な子どもたちがマンドリンを手に取り、楽しそうに音を鳴らしてくれました。

初めての中四国規模での開催は、右も左も分からぬ中での挑戦でしたが、多くの方々の助言と支えによって実現できました。急な人員変更や悪天候など予期せぬ出来事も続きましたが、実行委員やボランティアスタッフ、関係者の協力で全てのプログラムを無事終えることができました。

助成いただいたエネルギー文化・スポーツ財団様には、開催実現に向けて多大なお力添えをいただきました。またご協賛とスタッフ協力をいただいたフレット楽器ヤマサキ様、楽器体験用にbasic0をご提供くださったイケガク様、さらにエス・アイ・イー様、サロット様、エリザベト音楽大学様、運営面でご協力くださった廿日市市文化協会様に深く感謝申し上げます。

そして実行委員会をはじめ関係各位、ご来場・ご声援くださった皆様にも心より御礼申し上げます。

今回のフェスティバルをきっかけに、新しいつながりや挑戦が生まれていると聞いています。今後は3年後？の次回開催を目指し、準備を進めてまいります。引き続きのご支援とご参加をどうぞよろしくお願ひいたします。

フェスティバルアカウント継続運用

中四国マンドリンフェスティバルの開催に併せて開設・運用されていたSNSは、引き続き中四国地域の情報発信・共有を行なってまいります。
どうぞフォローと共有いただけますよう、お願ひいたします。



中四国マンドリンフェスティバル
公式アカウント

支部だより発行回数について

これまで隔月で発行してまいりました支部だよりですが、4ヶ月毎の発行に変更させていただきます。ご理解のほどお願いいたします。

ご寄稿いただける方、演奏会情報のご提供も随時受け付けております。
ご協力をお願いいたします。

日本マンドリン連盟 中四国支部会員への加入のご案内

一般社団法人日本マンドリン連盟への会員募集を随時行っています。

会員の皆様には、以下のような特典をご提供しております。

- ・隔月発行の日本マンドリン連盟機関誌「JMUジャーナル」の送付。
- ・日本マンドリン連盟の主催行事にご参加いただけます。
- ・中四国支部内で行われる演奏会等の情報を会員にシェアすることができます。

マンドリンに興味がある方は、どなたでもご入会いただけますので
ご希望の際は下記メールアドレスよりご連絡いただけると幸いです。

(入会金等はございませんので、年会費のみとなります)

年会費	個人	団体
一般	5,000円	8,000円
学生	2,500円	4,000円



「中四国支部だより」を配ってくださる方 記事を書いてくださる方大募集！

本冊子は現在、連盟の会員様とご紹介させていただいた団体様にお送りしております。

「中四国支部が、こんな冊子作ってるよ」とお知り合いにお配りいただける方を募集しております。

「配ってみるよ」という方がいらっしゃいましたら、必要部数などお知らせいただけましたら幸いです。
また、「うちの団体を紹介したい！」という方も、お気軽にご連絡ください。自薦他薦、会員非会員は問いません。「こんな団体あるよ」という情報もお待ちしております。

お問合せ等

日本マンドリン連盟中四国支部 支部長：佐古季暢子(さこきょうこ)



sako-mb@hotmail.com



090-1338-1881

